

報告日 令和6年9月2日  
報告回数 2日目

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	喬木村教育委員会			代表者名	丸山貢弘
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	子ども教育係	連絡先電話番号	0265-33-2002
担当者役職	教育CIO補佐	担当者氏名	長坂亮介	連絡先E-mail	
住所	395-1107 長野県喬木村6664				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	喬木中学校ICTを活用した自律的な家庭学習推進事業
概要	喬木中学校におけるICTを活用した家庭学習の充実に向けて、生徒向けワークショップと職員研修の開催		
支援を求める分野	教育情報化／情報教育		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月28日	支援・助言&講演(実地)	13時00分	18時30分	30
				活動時間（分）	300
2-2.	会場名	喬木中学校	最寄駅	座光寺	
派遣場所	所在地	長野県下伊那郡喬木村1562	最寄駅からの交通手段	車	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	生徒向けワークショップにおいて、子供たちにわかりやすく自主的・自律的に学ぶことの意義を伝えていただいた。体験を通して、ディスカッションの楽しさや問題発見の難しを実感的に理解でき、生徒のアンケート評価も好評だった。
アドバイザーへの要望事項	

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	200人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数 35 3	0	162

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	喬木中学校ではICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びを推進したり、生徒の主体性を育成することを目的として宿題を自主的に計画をたてて実施するように自律的な家庭学習にむけて改革を推進しているが、学校評価アンケート等で、一定数の保護者から「先生にしっかり教えてほしい」「宿題をもっと出してほしい」など、（折に触れて家庭向けの通知等で伝えていたが）めざしたい方向性がなかなか保護者に浸透しない課題がある。また、生徒の取り組みも、個人差が大きく改善が必要な面が大きい。あわせて、職員にとってもこれまでの「宿題」形式から自律的な家庭学習への移行に向けて、具体的な対応方法や、ICTを活用した方策、日常授業との関わりなど、体系的な取り組みに至っていない点も課題である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	生徒向けワークショップ① まずは学ぶことの楽しさを生徒に実感してもらい、自主的な家庭学習へとつながる一歩としたい。ワークショップを通して、喬木中の生徒に必要な力や日常の授業の改善点をアドバイザーに分析していただき、職員研修で指導していただく。  職員研修 先生方にこれからの時代に必要な資質能力をつけるための授業観へと変換してもらおう。実際の生徒の様子をもとに、具体的な改善点、今後の方針の示唆を得る。村内3校の職員全員で研修を受け、村全体で改善することにつなげていく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生徒向けワークショップ① 自主的に学ぶことの意義や必要性の解説/ディスカッションの楽しさを味わうワーク(うどん・そば・パスター番優れた種類は?)/問題発見を体験するワーク(どの言葉をいわれると嬉しいか、悲しいか順位付けて違いを議論)  職員向け研修会 「自主的に学ぶ児童生徒を育成するための教師の支援」と題して研修会を実施。なぜ自主的・自律的に学ぶことが必要なのか、これからの社会に必要な資質能力の解説/GIGAスクール構想でこんな授業をしていたらダメ10個の紹介/今日のワークショップの意図→生徒が自主的に動いたり、問題発見ができていない。小学校でも今日の内容を半分の時間で達成できる。/自主的、自律的に学ぶための訓練が必要/子どもが学びたくなるような課題の設計、教材検討、先生方が楽しんで遊び心を持ちながらやらないといけない	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事前アンケートでディスカッションはあまり好きではないと回答していた生徒が多くいたが、ワークショップではほとんどの生徒が積極手に自分の意見をいうことを楽しんでおり、事後アンケートでもディスカッションが楽しかったと答える生徒が多くいた。自主的に学ぶための、学ぶことの楽しさを実感する最初の一步を踏み出せた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	多くの生徒がディスカッションに積極的に参加する中、なかなか話が弾まないグループや話始められない生徒も目についた。アドバイザーからもできる子・できない子の差が顕著であり、クラス差・学年差が深刻である旨の指摘を受けた。職員研修も踏まえ、学校全体でアドバイザーからの学びを展開していくための管理職のリーダーシップが必要であることを、研修会事後の反省会であげられた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。  生徒アンケートから、135回答中、ディスカッションがとても楽しかった・やや楽しかったと答えた生徒が8割、授業でディスカッションをもっとやりたい・やややりたいという生徒が7割、自ら問題発見をし自律手に学ぶ授業をしたいという生徒が7割と、学ぶことの楽しさにふれ、これからの授業を変えてほしい・自ら変えていきたいと思う生徒が多く、ワークショップの成果がみられた	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある  職員研修や生徒アンケートの結果を受け、具体的な授業改善に取り組む。アドバイザーから授業改善のための授業類型を示してもらったので、職員も反省的に自身の授業を振り返り、実践にいかしていくことができる。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生徒：一人一人が学ぶ楽しさを実感し、目的をもってICTを活用した自律的な家庭学習を行えるようになる。これからの時代に求められる「自律的に学び続ける」力を養うことで、社会で幸せに生きていくことができる。 保護者：学校から与えられた宿題をこなすだけでなく、自ら学ぼうとする自身の子供の姿をみることで、わが子がこれからの時代に求められる能力を育てているという実感できる。 学校：生徒の自律的な学習につながる日常の授業改善、自律的な家庭学習を支える保護者に対して適切なサポートや情報提供ができる。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> 掲載可 <input type="checkbox"/>		
<p style="text-align: right;"> <a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a> </p> <p style="text-align: center; color: red;"> <b>なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b> </p>		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

